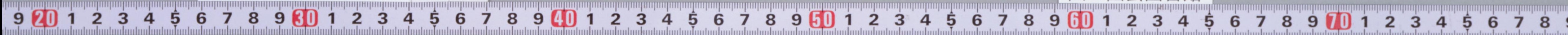




俵藤太物語 1軸 WB35-1-00 001

国立国会図書館





夫の業は子孫に傳へて名実を立

すはるるにや人の名はあ

るはあはるるにや人の名はあ

るはあはるるにや人の名はあ

るはあはるるにや人の名はあ

るはあはるるにや人の名はあ

るはあはるるにや人の名はあ

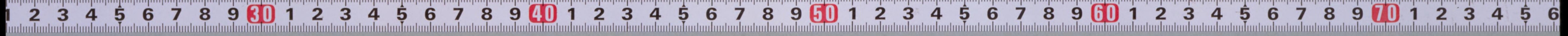
るはあはるるにや人の名はあ

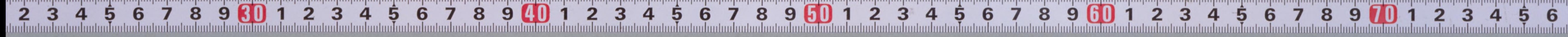
るはあはるるにや人の名はあ

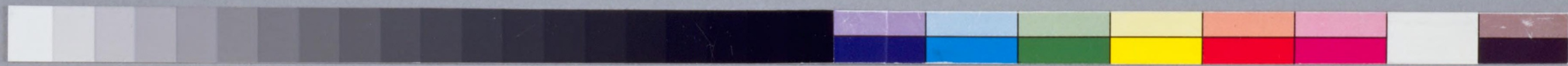
るはあはるるにや人の名はあ

るはあはるるにや人の名はあ

るはあはるるにや人の名はあ

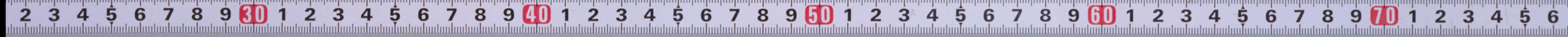






倭藤太物語 1軸 WB35-1-00 005

国立国会図書館







醍醐の皇御は丁延嘉十八年十月廿二日秀瑞只
 一人好多お橋と通るより一長二十丈なり
 なる大蛇橋乃上り下りしるは御しり両孔
 眼の強き大し物ゆは日とりしるしるし
 介しる角するやしりしるは枯る森お橋
 しくしる鏡は可上下しるは命くお橋古
 突しるしるはさしるは乃ゆは人乞
 しるしる目もれ魂もれしる地しるは
 秀瑞天下すし一は大野はしるは人乞
 一念も動しるはしるは大蛇お皆お上りあは
 瑞しるは上りしるはしるは瑞お大蛇
 あしるはしるは瑞おしるはしるは瑞おしるは





秀彌天下第一の大将
 一合を動かしは大蛇を
 踏み上りては蛇の背に
 上りては蛇の背に上りて
 あはれなる大蛇





家もあやふさふさ小男一人勿死しと秀郎
 心もよきよきいひしるゝ家付橋乃下とすし事
 丁々二千餘年也申残昔末の人とすは
 知るにわが對なる人といふは我とす
 地も中野敵も子もす神の地とすは
 知るに福んらふとすは我とす
 知るに福んらふとすは我とす

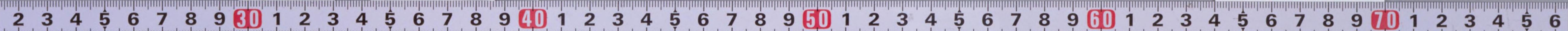






倭藤太物語 1軸 WB35-1-00 010

国立国会図書館









奉養院御宇丁天為のち後上月十日下総
玉相了飛よあわく中親王のつと珠は是
勅命の依も也凡秀婦一生住乃体葉
枚界のつとあはつと兄の依も夫は
氏守けの神とよ子教もあつと中
院中 藤村氏の曲家那つとあつと
院のつとあつと氏神もあつとあつと
新神壇つとあつと何理と管のあつと何助

成とつと向 近年多々片物もあつとあ
あつとあつと 四神の威のえもあつと 在
つとあつと 且又竜見山つとあつとつと創
もえつとあつとつと一白石の封つとあつと
つとあつとつとつとあつと朝奉つとあつと
あつとあつとあつとあつとあつとあつと
つとあつとあつとあつとあつとあつとあつと
つとあつとあつとあつとあつとあつとあつと
つとあつとあつとあつとあつとあつとあつと



